



2学期  
スタート

遅かった梅雨明け後はとても暑い日が続いた夏休みでした。子どもたちは、多くの体験をして心も体も成長したことでしょう。そして、2学期が始まりました。小学校は運動会、中学校は学園祭など大きな行事から始まり、それ以降も工夫された授業や行事がたくさんあります。実り多き2学期にしたいものです。

大切な 小さな一歩

町立教育センター  
教育相談活動

町立教育センターの主な活動の1つとして教育相談があります。「学校に行けない子どもたちの居場所」「再登校に向けエネルギーを充填する場」、「進級進学に向け学力を保证する場」としての役割を果たしてきています。



たこ焼きパーティー

現在は、数名が来室しています。主な活動は、教科の学習、絵・パズル・手芸などの創作活動、DVD鑑賞や卓球・バドミントンなどの体育活動、校外学習などそれぞれの子どもたちにとってパワーを蓄えられる充実した時間を考えています。また、交流活動として、来室している子どもたちが一緒に活動する場面も作っています。今年度は、「たこ焼きパーティー」「ホットケーキ・クレープ作り」「お好み焼き」



梅シロップ作り

などをしました。役割を分担したり、協力し合ったりして作ったものを食べながら、いろいろな話をしてゆったりとした時間を過ごしました。また、花壇の一角をお借りして、野菜作りもしています。子どもたちと相談して、キュウリ、トマト、ジャガイモ、サツマイモ、小玉スイカを作っています。夏以降の収穫とその作物を使った料理作りが楽しみです。

このような活動を通して、少しでも教育センターの役割が果たせるよう努めています。また、担任、養護教諭、管理職の先生などとも話をする機会を持ち、連携を密に取っています。さらには、SSW(スクールソーシャルワーカー)、スクールカウンセラー、町の子育て支援課などとも連携をとっています。特に、SSWの渡辺博子先生には何度も来室していただき、子どもたちにセンターとは違ったアプローチをし

ていただくなどして連携した相談活動を行ってきています。

センター相談員より



私たち相談員の一番の願いは、教育センターから学校へと自分の気持ちが向くようになることです。今は、人や社会とつながるためにエネルギーをたくさん充電して、毎日元気に活動してほしいと願っています。たとえその歩みが小さなものであっても、現状に寄り添う中で、一步一步前に進めるようにサポートしていきたいと思っています。



スクールソーシャルワーカー 渡辺博子先生より

SSW2年目を迎えました。悩みを抱える子ども・ご家族と向かい合う中で、誰一人として同じ状況・思いではないと感じます。本当に辛い時には「辛い」「助けて」さえ言えないことが多い…。その人の苦しさ・思いを共有し、応援してくれる様々な支援者の方々との協働でオーダーメイドの支援を考えています。「こんな自分なんて…」と悩んでいる子ども達に「そんなあなただから必要」というメッセージを込め、支援を届けていきたいと思っています。

大きな行事の後はやる気が出ず、目標を失い、進むべき道に迷っているような言動がみられることもあります。また、夏休み明けの生活リズムの切り替えがうまくいかず、登校を渋る様子が見られることもあります。そんな子どもたちの言動を見逃さないようにしたいものです。心配な様子が見られたら、町教育センターへ